

『詩編63 — 私の魂はあなたを渇き求めます』

武田 真治 牧 師

詩編 63:1～12 マタイ福音書 5:6

毎月末には「詩編」を一つづつ読み進めています。本日は63 編ですが、始まったばかりの初代教会ではこの詩編は《朝の祈りや礼拝》でよく用いられていたそうです。その理由が最初の節にあります。今の新共同訳では「神よ、あなたはわたしの神。わたしはあなたを捜し求め」とありますが、この「捜し求める」という言葉は原文では(アシャハレーカ)で、もともと(シャーハル=夜明け、あけぼの) から来ており、古いギリシア語訳(70 人訳) では「私は朝早くにあなたを求め」と訳され、それが初代教会で朝の祈りや礼拝で用いられたのでした。ただ、そのように聞くと私たちは、希望と信仰に満ちて一日を始める祈りなのだろうと想像するのですが、実は内容は全く逆なのです。この後「わたしの魂はあなたを渇き求めます。あなたを待って、わたしのからだは乾ききった大地のように衰え」と続きます。むしろ、心も体も疲れ果て生きる気力が持てないのだと。あたかも私たちの月曜日の朝のような状態ではないでしょうか。

ただ、それ故「今、わたしは聖所であなたを仰ぎ望み」と続きます。つまり、朝の厳しい状態をなんとかしたいと“聖所へ(パコーデーシュ)”と向い、そこで「あなたを仰ぎ望み、あなたの力の栄えを見て」いるのです。この「仰ぎ望む」は(ハーザー)で、これはもともと「幻を見る、見抜く」という意味を持ち、聖所の伽藍や空間、或いは装飾や内部の様子等から、それらの背後にある“神様の栄光と力”を「感じる、見抜く」という意味です。そのことでこの祈り人は「わたしの魂は満ち足りました。乳と髓のもてなしを受けたように。わたしの唇は喜びの歌をうたい、わたしの口は賛美の声をあげます。」と変えられたと。まさに励ましと支えを確認でき“新しい力に満たされた”と告白しているのです。

どうでしょう？ 私たちもこの礼拝を通して、何より与えられたいものは、この(ハーザー)ではないでしょうか？ この礼拝堂やこの空間、そして聖書のみ言葉や讃美歌、他の方々

の祈りや信仰者の姿や言葉を通して「神様の力と栄光」を感じること、確信することではないでしょうか。だからこそ讚美し、心からの祈りを献げられるのではないのでしょうか。心も身体もきつくなっており、生きる力も沸いてこない時にこそ、この会堂・礼拝堂に来て、この(ハーザー)する体験をすることによって再び生きる力と支えを得られるのだと。

ただ、この詩編のさらなる深さは、ここで終わらないという点です。この後の7 節は「床に就くときにも御名を唱え、あなたへの祈りを口ずさんで夜を過ごします。」と語ります。この「夜通し」は(アシュムラー)で「夜回り(シューマル)」という言葉から来ており、夜中も起きている=眠れない現実があることを指します。それでも「祈りを口ずさんで」過ごすと。厳しい状況があるけれども、背後には必ず“神様の力と導き”があることを(ハーザー)できるから大丈夫だと！

【今週の集会】

*聖書研究・祈禱会 I. 9 月 9 日(水) 20:00
II. 9 月 10 日(木) 10:30

聖書研究: ヨブ記

祈禱主題: 敬老祝福を覚えて

担 当 者: (水) OY (木) MM

祈りに覚える人: TN さん TK さん

【教勢報告】

主日礼拝 男 14 女 48 計 62

祈 禱 会 I. 男 4 女 2 計 6 II. 男 1 女 5 計 6

日曜学校 幼稚科 5 小中科 1 計 6

【次週主日礼拝】 9 月 13 日(日)

聖 書: エゼキエル書 6:1～10

ルカによる福音書 9:51～58

説 教: 「ルカ 86 — 決意を固められたイエス様」

武田 真治 牧 師

讃美歌: 54(1)、32、208、412、443、29

【次週当番表】

司式: IK 長老 奏楽: MA 礼拝: SM 長老

献金: NE NY 受付: SM HH

会堂準備: IY OY KS NY

MH

看板: II 週報: YS お花: IK

【次週集会予定】

礼拝前: ・日曜学校 ・聖書輪読会 ・はこぶねルーム

礼拝後: ・敬老祝福 ・牧師と語る会 ・お茶の会

・聖歌隊練習 ・壮年/婦人/ダビデ会

・関東改長協役員会

週 報

2026 年度 教会標語

「神様に“望み”を持って、生きる！」

2026 年 9 月 6 日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧 師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見 2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549